



## 新潟県 小千谷市立小千谷中学校

小千谷市立小千谷中学校は、ユネスコの無形文化遺産に登録された「小千谷縮<sup>おぢやぢみ</sup>」の産地として、また、日本最古の公立小学校発祥の地としても知られる新潟県小千谷市にあります。本校では、「地域と共に歩む『希望』あふれる学校」をめざして、地域や保護者との連携を大切にしています。



正門と桜

2015・2016年度には、新潟県金融広報委員会から「金融教育研究校」の委嘱を受け、金融教育に取り組みました。研究テーマを「社会の中で生きる力を育む金融教育の推進」と定め、全教科・全学年で金融教育に関連する学習内容を洗い出し、教職員全員が金融教育に主体的に携わるようにしました。また、キャリア教育では、職場見学（1年生）、職場体験（2年生）というかたちで地元産業界とも連携して内容の充実を図りました。

たとえば、公開授業の対象にもなった3年生の社会科では、「賢い消費者になるために～現代の商品購入について考える～」と題し、インターネットを利用した買い物のメリット、デメリットについてグループ討議をしながら考えることとしました。インターネットショッピングでのトラブルについて、実際にあった事例を学び、生徒自身の体験談も踏まえながら、賢い消費者になるために、インターネットを利用して商品を購入することの利便性、危険性、問題点について理解を深めることができました。

インターネットの普及にみるように、子どもたちを取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。だからこそ、生徒たちには、自分の生き方や価値観を磨きながら、より豊かな生活やよりよい社会づくりに向けて、主体的に行動できる力を身に付けてもらいたいと願っています。このために、今後も社会の中で生きる力を育む金融教育に取り組んでいきたいと考えています。



2016年度金融教育公開授業の様様



2016年度金融教育公開授業 住田裕子先生による講演会の様様